

列状間伐のメリット・実施状況・低コスト化効果

列状間伐とは、地形・搬出路の配置、植栽列の状況に応じて一定の間隔で直線的に間伐木を選定し伐採する方法。

列状間伐には、①選木の手間が省ける、②伐採・集材が容易である、③労働安全確保上災害の原因となるかかり木が発生しにくい、④残存木の損傷が少ないなど多くのメリットがある。

列状間伐の実施状況

| | 私有林 | 公有林 | 国有林 |
|---------|-----|-----|-----|
| 列状間伐の比率 | 10% | 29% | 67% |

注1) 林野庁業務資料。
注2) 平成28年度森林環境保全直接支援事業工程分析調査のデータから整理。

列状間伐の低コスト化の効果

| | 定性間伐 | 列状間伐 | |
|------|-----------------------|-----------------------|-------------|
| 標準単価 | 422,063円/ha | 374,486円/ha | ⇒ 標準単価は1割低い |
| 生産性 | 5.7m ³ /ha | 6.4m ³ /ha | ⇒ 生産性は1割高い |

注1) 林野庁業務資料。
注2) 標準単価は、車両系・プロセッサ造材・搬出量50～60m³/haの平成28年度の全国平均。
注3) 生産性は、平成28年度森林環境保全直接支援事業工程分析調査のデータから整理。

搬出間伐のうちの列状間伐比率(平成29年度予定)

